

とらのもん



第17号
平成16年12月

<http://www.toranomon.gr.jp>

皆さまに
医学情報、病院の情報等
をお届けします。

胆石症は「放置か、要治療かの見極めを」
インフルエンザの予防とワクチン接種
虎の門病院からのご紹介 中澤プレスセンタークリニック



雪山

< お知らせ >

本院 公開講座

本院3階講堂

入場無料

12月18日(土) 14:00-15:30

「人間ドックで胆石、胆のうポリープと言われたら」

消化器外科部長 渡邊 五朗

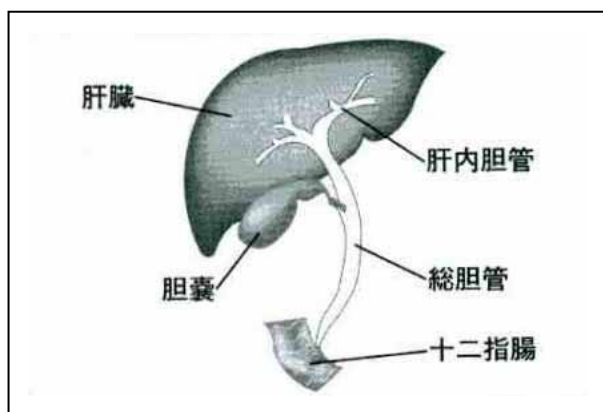
1月15日(土) 14:00-15:30

「内視鏡で切除できるがんもある」

消化器内科部長 星原 芳雄

<胆石症。胆嚢内？胆管内？>

胆石症は石のある場所によって治療法、治療方針が変わってきます。まず胆汁の流れですが、胆汁は肝臓で作られ、木の枝のような胆管に分泌され、一本の総胆管に集まり十二指腸に排出されます。その途中にある貯蔵袋が胆嚢で、食事の刺激で収縮して胆汁を追加しています。



胆石症とは一般的に胆嚢の中に石がある状態を言います。総胆管の中に石があれば**総胆管結石症**、肝臓の枝の部分にあれば**管内結石症**と呼び、各々できる要因も違います。

胆嚢内の胆汁は濃縮されているため、結晶である石ができやすくなっています。食事、特に脂肪食と関連すると指摘されていますが、他に胆嚢の機能自体にも問題があるようです。

総胆管の石はほとんどが胆嚢から落ちてきたものです。このことは、後で述べる治療法に関連します。

<石の種類と頻度>

胆石の成分は結晶としてのコレステロール、胆汁酸色素、炎症を基盤とするビリルビンカルシウムなどが主な構成成分です。

しかし最近ではコレステロールを主成分に色素成分などが混ざった黄白や黒褐色の混合石と言われるものが最も多く、目立っています。

人間ドックのデータによると、胆石は約3%に見られます。すなわち国民の300万人以上が持っていることとなります。これは、15年前とほとんど変わっていません。総胆管結石の頻度は明らかになっていませんが、当院では胆石症手術例の約1/6を占め、これも十数年前と変化がありません。胆石が胆管にまで落ち、総胆管結石もおこしている可能性があるといえます。



<症状は？胃痛と間違えないよう>

胆石症はみぞおち、右季肋部、右背部の鈍痛で、夕食後、特に夜中に多く起こります。転げ回るほどの発作的な疼痛は少ないため、胃痛だと思われがちです。胆石が胆嚢の出口で詰まると、胆嚢が腫れて胆嚢炎になり、右季肋部の痛みや発熱、ひどい場合には黄疸を伴い、積極的な治療が必要となります。重症になると胆嚢の壁に孔が開いて腹膜炎になることもあります。

一般に胆石は無症状のまま経過することが多く、“**サイレント・ストーン**”とも言われます。それではいつまで無症状か？報告では10年を経過すると約30%が発症すると言われています。

総胆管結石の症状は、発作的な疼痛は少なく、腹部膨満程度の症状が特徴ですが、いったん結石が総胆管の出口に詰まり炎症を起こすと、発熱、黄疸、肝障害をおこし、時にはショック、意識障害に陥り数日

で死に至ることもあります。特に高齢者のケースで、発病症状が軽いために風邪だと思ひ、そのうちに黄疸になり、手遅れになる事があります。総胆管結石には気をつける必要があります。

<お腹の痛みにはまず超音波を>

診断には超音波検査がもっとも精度が高く、かつ簡単、安全です。炎症があると、胆嚢が腫れ、壁が厚くなるなどの所見が見られます。壁の異常が見つかった場合、胆石なのか癌なのか区別しにくい場合があるので、専門的な施設で検査を受けるのがよいでしょう。総胆管内の石は超音波でも70%くらいはわかりますが、完全ではありません。超音波に映らなくてもある程度症状があり、疑いがある場合は胆管の造影検査を受けて確かめることをお勧めします。

<発作が起きたら？手術は？>

疼痛の発作が起きたら、まず食事を止め、鎮痛、鎮痙剤（ブスコパン等が市販されています）を服用します。

胆嚢炎に対しては、最近は積極的な治療として胆嚢に細い針を刺して胆汁を吸引し、胆嚢内の圧力を下げることで、詰まった石による炎症を軽減する方法が推奨されています。この方法は、瞬時にして痛みを抑えます。

胆石に対する治療の方は、内科的治療として、経口胆石溶解剤で胆石を溶かす方法があります。しかし、毎日薬を年単位で飲んで効果があるのは数10%で、再発する可能性があります。基本的には根治的な療法は胆嚢を取ること、つまり手術が多くなっています。胆嚢は一般的に胆汁を貯めて必要に応じて追加するためのものですので、無くても消化にはそれほど実害はあり

ません。最近は腹腔鏡下に胆嚢を取るのが、一般的になっており、この方法は傷も穴だけで、入院日数も一週間以内ですみます。

総胆管結石は、現在はほとんどが口からの内視鏡を使って、出口（十二指腸乳頭部）の方から石を抜き取ることができるようになりました。しかし胆嚢に石がある限り、また胆管内に落ちてくる可能性が高いので、手術で胆嚢を取っておく必要があります。

<放置が可能か？>

基本的に、胆石は良性疾患です。総胆管に落ちない限り、致命的となることは稀であるので、無症状例は放置して良いと言えます。しかし胆嚢がんの立場から見ると、胆石と胆嚢がんとの関連は明らかでないものの、症状が起きてからの胆嚢がんは治療困難なものが多いので、年に1回の超音波検査による専門家のチェックが理想的です。もし検査で、胆嚢壁に異常があったり、石が充満して壁の様子が判断できない場合は、症状がなくても手術を勧めています。

現在、人間ドックでは、胆石をみつけるのはもちろん、超音波検査で壁の観察もできることが最大の特徴です。症状の無いうちの早期がんを見落とさないためにも検診は大切です。

詳細は公開講座にてお話いたします。

公開講座

日時：平成16年12月18日（土）

14:00 ~ 15:30

第一会場：本院 本館3階 講堂

第二会場：本院1階 院内薬局前

インフルエンザの予防とワクチン接種

呼吸器センター内科 川畑雅照

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスの感染で起こる急性の熱性疾患で、毎年12月～2月頃に流行します。感染すると突然38度以上の発熱と悪寒、頭痛、倦怠感、関節や筋肉の痛みなどがあらわれ数日間寝込むような状態となります。その後、咳や痰、喉の痛みなどがでてきて、通常は1週間以内に回復します。インフルエンザは高熱と重症感が強いことが特徴で、インフルエンザウイルスによる肺炎や脳炎などを合併症して生命に危険が及ぶこともあります。また、高齢者や慢性疾患のある方は、もとの疾患の悪化や細菌性肺炎の合併などにより、時に生命を脅かすこともある病気です。インフルエンザは、かぜの代表で軽い病気という誤解がありますが、通常のかぜとは全く別の病気と考えなければなりません。

インフルエンザの予防とワクチン

インフルエンザは、うがいや手洗い、人ごみや冷気を避けるなどの方法では十分に予防できません。最も確実に有効な予防法はインフルエンザワクチンです。インフルエンザワクチンは、接種して約2週間で効果があらわれますが、約4カ月しか持続しません。また、流行するウイルスの型が毎年変わることもあり、一年に一回接種しなければなりません。

インフルエンザワクチンの

有効性と副作用

インフルエンザワクチンは、約70%でインフルエンザの発症予防に有効で、もし予防できなくても症状が軽くてすみます。

高齢者では、肺炎などの合併症も予防し、死亡率や入院期間も減少させます。但し、インフルエンザワクチンはインフルエンザのみに有効で、他のかぜのウイルスには無効です。このため、ワクチンを接種したのに、かぜをひくことはあります。

インフルエンザワクチンの副作用として、接種部位が赤くなったり腫れたり痛んだりする他、微熱や倦怠感などを自覚することもあります。しかし、ほとんどは軽いもので数日で消失します。重篤な神経系の副作用は極めて稀です。ワクチンは鶏卵から製造されるため、鶏卵アレルギーのある人はアナフィラキシーを起こす可能性があるため接種できません。

高齢者や慢性疾患のある方では、副作用によるデメリットよりも、効果によるメリットの方が大きいため、広く接種が勧められています。

インフルエンザの診断と治療

もし、インフルエンザに懸かったかな、と思ったらすぐに医師の診察を受けて下さい。インフルエンザかどうかは、鼻汁を採取してすぐに調べることができます。もし、インフルエンザと診断されれば、抗ウイルス薬（商品名：タミフル）が有効で、症状の持続期間を短くすることができます。



虎の門病院からのご紹介 = 中澤プレスセンタークリニック =

中澤英樹先生は今年3月まで虎の門病院に33年間勤務し、内分泌外科部長として乳腺・甲状腺を主とする内分泌臓器疾患の治療に携わってきました。現在は虎の門病院の医師ネットワーク登録会員として、虎の門病院と緊密な病診連携をとっています。クリニックでできない検査などは直接虎の門病院に予約することができ、また手術など入院治療などが必要な場合には、虎の門病院をはじめご希望の医療機関へ紹介しています。



中澤 英樹 先生

専門分野：内分泌外科（乳腺・甲状腺疾患）

昭和45年5月 札幌医科大学卒業
 昭和46年4月 虎の門病院外科レジデント採用
 昭和50年4月 虎の門病院内分泌外科専攻医
 平成5年4月 虎の門病院内分泌外科部長
 平成16年3月 虎の門病院退職
 平成16年5月 中澤プレスセンタークリニック開設

こんな症状をお持ちの方はお越しください

- 乳房や脇の下にしこりを感じたとき
- 乳房の皮膚にくぼみやひきつれを発見したとき
- 乳首の向きが変わったり高さが低くなったとき
- 乳頭から分泌物が出ているのに気づいたとき
- 乳頭に湿疹のようなただれができたとき
- 乳房にむくみや腫れ、熱感などを感じたとき
- 何となく乳癌が心配になったとき
- 一年以上乳癌検診を受けていない方



都営三田線 内幸町駅 A6 A7出口より徒歩2分
 千代田線、日比谷線 霞ヶ関駅C4出口より徒歩3分
 丸の内線 霞ヶ関駅 B2出口より徒歩6分
 銀座線 虎ノ門駅 9出口より 徒歩8分
 JR線、銀座線 新橋駅
 日比谷口（SL広場）より徒歩10分

[診療科目]	外科・内科		
[診療時間]	平日	午前	9:30 ~ 12:30
		午後	3:00 ~ 6:00
	マンモグラフィの撮影は 火・金の午後にのみ行っています		
	土曜日	予約のみ	
[休診日]	水曜日（虎の門病院外来診療）		
	日曜・祝日		

中澤プレスセンタークリニック

〒100-0011
 東京都千代田区内幸町2-2-1
 日本プレスセンタービルB1
 Tel.03-3500-1101 Fax.03-3500-1103
 E-mail hibiki@nakazawa-pcc.net
 web <http://www.nakazawa-pcc.net/>

医学にまつわる話 ~ベートーヴェンの難聴~

強く突き出した前額、深くくぼんだ鼻根部、鞍鼻といわれるあぐら鼻のベートーヴェンの顔は先天性梅毒の特有の所見であり、1927年のベートーヴェン100年祭の折には“彼の骨の変化は梅毒性変化であろう”と発表した学者もいた。先天性梅毒は頭蓋骨を変化させ、聴覚障害をももたらすという症状がある。

ベートーヴェンの難聴については様々な説があるが、先天性梅毒によるもの、という説が有力だ。ベートーヴェンはドイツ国内の色々な温泉で、温泉の水を飲む水治療法を行っていたらしい。これは彼が慢性的にもっていた下痢の治療の目的があったが、同時に梅毒の治療に関係があったのではないかと思われる。

ベートーヴェンの聴力障害は、26歳のとき、風邪をひいたあとに初めて左の耳に生じた記録にある。この時以来、彼は一生、耳の病で悩まされ続けた。種々の治療がすべて無効であったことが多くの記録に残されている。アーモンド油、発泡膏の貼布などのほか、煎じ茶なども服用しているが、効果はなかったようだ。

1810年頃、聴覚障害はいっそう悪化し、会話の際に筆談帳(会話帳)を使い始め、創作力がとみに低下したのも聴覚障害と関連があると思われる。その後もベートーヴェンの聴力は衰え、人との交際にさしつかえるまでに悪化した。

メトロノームの発明者メルツェルが、彼の耳の聴こえが少しでもよくなるように、いろいろな形の補聴器を作って提供したが、ベートーヴェンは、それらを使用した様子がない。あまり役に立たなかったようだし、人前で補聴器を使うのが嫌いだったようだ。

ベートーヴェンはウィーン滞在の35年間に、ウィーン郊外とバーデン、メードリンクなど、ウィーン近くの町での夏の滞在を加えると、実

に79回も引っ越しをしたという証拠も残っている。彼がなぜこのように数多く転居したか。色々な説があるが第一には家主とすぐにけんかをしたことによる。彼は作曲しながら部屋中をぐるぐる歩き回るくせがあり、二階の場合には階下の家主がうるさいと怒った。また床に水をまいて階下にこぼれだしたといったことで家主とけんかをして転居したことも多かったようだ。

ある教授の分析によると、ベートーヴェンの音楽には執着性と徹底性がみられるという。ひとつのテーマに対して固執すると、他のものは目に入らなくなる。例えば、“運命が扉を叩く”四つの音が彼の魂をとらえると、彼は数年間もその虜になり、交響曲第5番「運命」、ヴァイオリン協奏曲、ピアノ協奏曲第4番、ピアノソナタ「熱情」、「ワルトシュタイン」と飽くことなく四つの音を追いかけ続ける曲を作る。一種のしつこさ、集中性と反復には、精神的な一種の視座の狭窄がある。

なぜベートーヴェンが集中型の典型になったか。これは彼の耳の不自由さが、被害妄想的な悩みや猜疑心をもたらすとともに、創造の心理にも決定的な影響を与えたものと考えられる。

ベートーヴェンにとって、聴覚を失ったことは他人との対話ができないだけでなく、自分が到達し得た世界への道を失うことになったのだ。家主とけんかをして79回も転居した真の原因もこのように聴覚を消失したことによる特有な偏見と、彼の性格が大きく影響したのではないだろうか。



『死因を辿る』講談社 五島雄一郎 著 より
(文責) 有賀 沙織

虎の門病院の正面、健康管理センター前の道路が江戸時代には葵坂と呼ばれていた。しかし、今では坂かどうかもわからなくなっている。一方、当院看護宿舎葺手療の前の江戸見坂は今でも勾配がきつく、疲れて帰る時など恨めしい思いをした人は多いと思われる。病院のちかくには印刷局前の汐見坂、アメリカ大使館横の榎坂、ホテルオークラ西側の霊南坂、サントリーホール裏の桜坂、と多くの坂がある。名前からも分かるように江戸時代には、坂の上から江戸中が見え、海が見えた。ものの本には港区には99の坂があると記載されており、東京全体では名前のついている坂が600以上あるそうだ。東京の在る関東平野は広大な平地ではあるが、武蔵野台地と呼ばれ比較的海抜は高い。川と海による浸食がこの台地に起伏の多い地形を作り出し、そこに道が作られたことにより多くの坂ができた。そして、長い年月の人々の営

みから、坂に色いろな名前がつき、今日にいたっている。葵坂は虎の門病院の以前の地名である「赤坂葵町」のもととなった江戸時代の地名葵が岡より生まれた。榎坂は街道の一里塚だった榎の大木があったと伝えられている。霊南坂はここに高輪東禅寺の嶺南庵を開山した嶺南和尚より坂の名をとったが、いつのまにか字が変わった。このように、東京には数多くの坂があり、しかもその多くに名前が付けられている。坂に名がつけられたのは主に江戸時代から昭和にかけてで、これは東京に限らず日本各地でみられが、外国ではあまりないらしい。日本人特有の感性なのだろうか。急な坂、ゆるい坂、長い坂、短い坂、出世の石段で有名な愛宕神社の石段の坂、いろいろな坂が在る、坂を恨むばかりでなくその由来に少し思いをはせてみてはいかがだろう。



江戸見坂



汐見坂

【 編集後記 】

今年ももう12月。年末、何かと忙しくなる時期ですが、風邪やインフルエンザなどにおかかりになりませんよう、気をつけてお過ごしください。 広報誌「とらのもん」に対するご意見は [03-3588-1111](tel:03-3588-1111) (内線 2006) までお寄せください。

(発行) 虎の門病院 広報企画委員会 中西成元(医師)
(編集) 田野(放射線部) 北澤・清水・有賀(事務)

虎の門病院のご案内

初診時より効果的な診療ができますよう、出来ましたら他病院からの[紹介状](#)を御持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時特定療養費(本院 5,250 円、分院 3,150 円)をお支払いいただきます。

本院初診受付時間

内科	8:30~10:30
小児科	8:30~11:00
皮膚科	8:30~10:30
麻酔科	13:00~14:30(水以外)
外科	8:30~11:00
脳外科	火~金曜 8:30~11:00 月曜のみ 13:00~14:30
整形外科	8:30~10:30
形成外科	月・火・木・金 8:30~10:30
産婦人科	8:30~11:00
泌尿器科	8:30~10:30 12:30~14:00 (但し火・木曜日の午後は除く)
耳鼻咽喉科	8:30~10:30
眼科	8:30~10:30
歯科	8:30~10:30

分院初診受付時間

	午前 8:30~ 10:30	午後 1:00~ 3:30
総合診療内科		水
一般内科	月・火・水・金	火・木・金
呼吸器科	×	金(第2・4)
消化器科(肝臓)	週により異なる	週により異なる
神経内科	水	月・木
腎センター(内科)	月・火・水・木	月(第1×)・火
腎センター(外科)	火・金	×
精神科	×	
循環器センター	×	水(第1・2・3)
外科	火・水・木	火・金
整形外科		火・水・木
皮膚科	×	火(第2・4)
小児科	×	月・水・金
泌尿器科	×	月
歯科	月・火・水・金	月・火・水・金

虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2

TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分

* 車でご来院の方：有料駐車場があります
(30分：300円 患者さん割引あり)

予告なく変更することがありますので、診療前に電話にて各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1

田園都市線梶が谷駅より徒歩15分

宮崎台駅よりバス5分

TEL 044-877-5111 (代)

さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1

さいたま新都心合同庁舎2号館1階

TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分

JR埼京線 北与野駅 徒歩8分

(診療科) 内科・精神科・歯科

平日 AM 9:00~11:30 PM 1:30~4:00

人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

* 虎の門病院 健康管理センター
直通) 03-3560-7777 平日 8:30 から 16:00 まで

当院でセカンドオピニオンの

提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。
(料金) 30分：10,500円 60分：21,000円
診療情報サービス室 (直通) 03-3560-7823